

タイトル:

学籍番号:2213009
2213012
2213028

名前:大重琴美
神田里菜
中尾桃佳

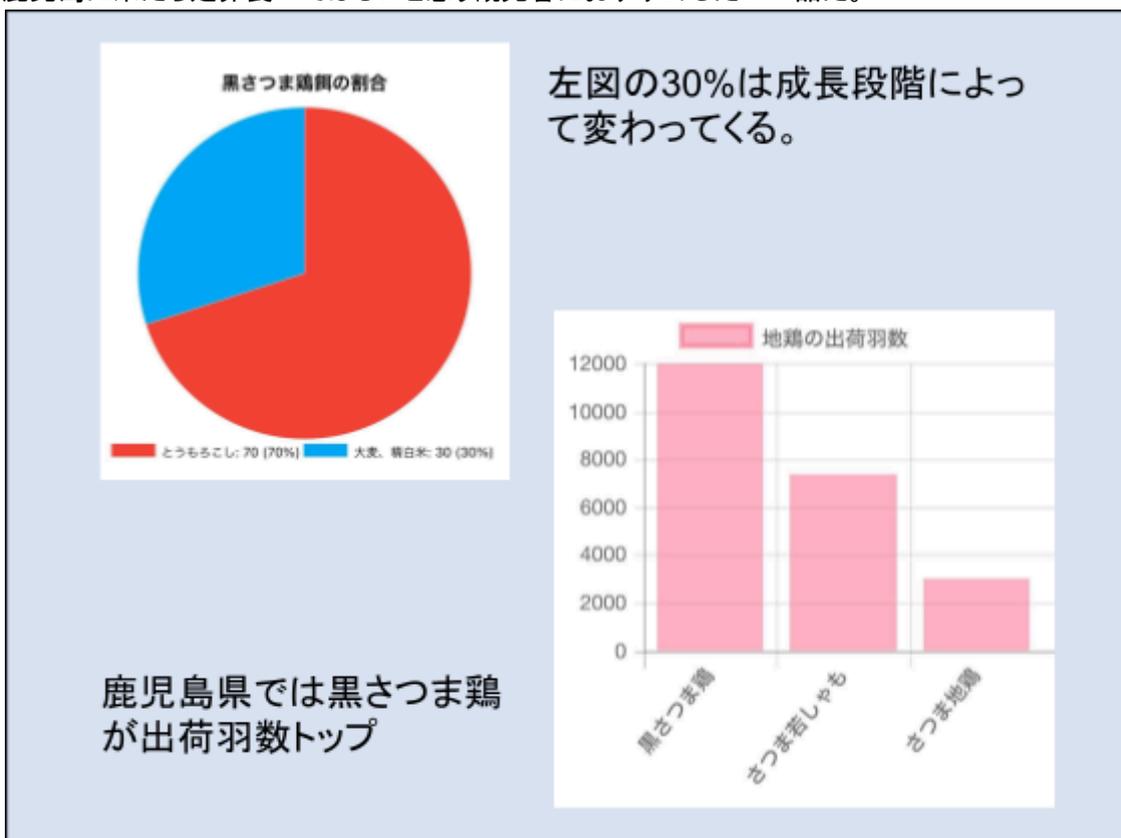
■概要説明:

私達は今回、鳥刺しが好きという共通点を元に鹿児島県の黒さつま鶏に着目した。鹿児島県では多く食べられているが、黒さつま鶏は鹿児島県の名産”黒豚”に比べ有名ではないと知り、今回全国に広めたいと思った。

黒さつま鶏を調べるにあたって、株式会社真栄ファームに取材を行った。黒さつま鶏は雄のさつま鶏と横斑プリマスロックの雌との交配によって平成18年に作出された在来種100%の地鶏であり、研究に6年、出荷までに10年の歳月を要した鹿児島渾身の鶏である。さつま鶏とは違い、旨味成分であるアミノ酸が多く含まれ、水分が少なく締まりがあり、繊維質がきめ細かい肉質が特徴的である。

取材させていただいた真栄ファームでは、飼育にとってもこだわっていて、他の鶏舎では1㎡10羽成飼育している所を1㎡5羽以下で飼育している。また、餌はとうもろこしをもとに15~20種類をブレンドしている。

今回調べるきっかけになった鳥刺しは鹿児島県では馴染みのあるソウルフードとして楽しまれている。江戸時代から薩摩武士が食べていたもので、現代まで伝承された歴史のある食べ物であり、鹿児島に来たら是非食べてほしいと思う観光客におすすめしたい一品だ。



黒さつま鶏

タイトル:地元永吉の秘密について

学籍番号 2213072.2213074 名前 田畑 陽奈、堂園 夏菜

概要:選んだ理由は3号線ばかりに焦点が当たってしまいがちな永吉の地元を自ら発信したかったからである。モンシェリー松下は永吉一丁目に位置する洋菓子店で、創業当初は和菓子店で、今年で102周年を迎える老舗の菓子店だ。現在は県内に4店舗展開しており市内ではアリーナ前店、県内では川内店が最も来客数が多く、近頃伊集院に新店舗を計画中である。鹿児島抹茶でのお菓子販売が目標である。西原商会アリーナはスポーツ大会や進学・就活支援のイベントに利用され、2020年に名前が変わり、5年契約制で名前が選ばれる。コロナの影響で来館人数は減少したが、行動制限緩和や国体開催により復活した。アフロカフェは2階にあり、ピザやパスタ、ジェラート、コーヒーを提供。店内は40席あり、カウンターやボックス席で利用可能である。先払い制となっており、可愛いラテアートが楽しめ、店内はテレビも設置してあるため、子供連れにも対応していることを知った。どの施設や店舗においても取材前後での印象が全く違い、地元のニーズや情報を詳しく知りつくして経営戦略を行っているのだと思った。情報を発信する立場だが、新しい情報得ることは自分たちへの刺激にもなったと感じている。



日帰り鹿屋満喫プラン

学籍番号: 2213042 2213079

名前: 松川亜弥音 新納千尋

■鹿児島市内在住のため市内の人気スポットや観光地などはほとんど全て行ったことがあるため、あえて普段行かないような場所に訪れてみたかったため鹿屋を選んだ。また交通手段も、車だけでなく、滅多に乗らないフェリーに乗ることで旅行気分を味わうことができ、充実感がより増し、楽しい旅になると思った。そして今回私たちは、チーズケーキ専門店ciel、ユクサおおすすめ海の学校、菅原神所の3箇所を訪れ、チーズケーキ専門店cielさんに取材を行った。今回の取材を通して鹿児島には魅力的なものがたくさん溢れているということに気づけた。普段行かないような場所に行くことでこんな場所が鹿児島にあるのだと知れた。市内では感じることのできない自然に触れることで非現実的な空間を楽しむことができ、とてもリフレッシュすることができた。今回のプロジェクト演習でブログ作成を初めて体験した。読む人に分かりやすいように端的に伝えることや写真の選び方、見出しのインパクトが重要なことなど記事を書く上で大切なことを学ぶことができた。



鹿児島女子短期大学 教養学科 近藤ゼミ

鹿児島県の魅力を再発見しよう

■概要説明：私は、鹿児島県の魅力を再発見しようとする今回の取材先を選びました。まず私が通っているこの鹿女短周辺の加治屋町は歴史に溢れる町です。明治維新で活躍した西郷隆盛さん大久保利通さんなどが生まれた場所です。私は、この明治維新で活躍した方々のことを深く知りたいと考えて今回維新ふるさと館や南洲神社を訪れました。そして、ブラックスミスではランチをして楽しい時間を過ごしました。

■目的：維新ふるさと館、南洲神社、ブラックスミス

維新ふるさと館は、鹿児島県の歴史を深く学べます。観光客や修学旅行生に向けて鹿児島県の明治維新で活躍した西郷隆盛さんや大久保利通さんなどのことを深く学べます。私は、2つのドラマを通して明治維新を詳しく知りました。例えば、私達がほぼ毎日利用している鹿児島中央駅にある「若き薩摩の群像」のモデルとなったドラマが「薩摩スチューデント西へ」です。南洲神社は、西南戦争で亡くなった方のお墓があります。3個所の取材先を通して、鹿児島県の歴史に少しでも興味を持つことが目的です。

■方法

午前11時にブラックスミス集合。ランチをしてから維新ふるさと館に歩いて移動しました。維新ふるさと館では、明治維新や館内の方にもインタビューをしてとても勉強になりました。特に2つのドラマを見たのですが、面白くて鹿児島県の歴史を知る良いきっかけになりました。南洲神社までは、カゴシマシティビューで移動しました。移動中は、バス内で鹿児島県の歴史についてのアナウンスや音声があり、移動中も歴史の勉強をしました。南洲神社に着いてからは、お参りをしてからおみくじを引きました。桜島も綺麗に見えました。

■結果とまとめ

やはり今回の旅の目的は、鹿児島県の歴史を知ることだったので3個所取材をして歴史を面白く楽しく学ぶことができました。最初に訪れたブラックスミスは鹿女短から近いということもあり、鹿女短の先生方や学生にも訪れて欲しい場所の1つです。維新ふるさと館も、鹿児島県や明治維新そしてパネルやドラマなので鹿児島県のことを分かりやすく学べます。観光客だけでなく、鹿児島県に住んでいる私達も楽しめる施設ではないかと考えました。南洲神社は、鹿児島県の景色を綺麗に見ることができます。雄大な桜島や西郷さんのお墓なども見られます。今回は、鹿児島県の歴史を学びながらランチをして楽しい時間を過ごすことができました。

タイトル：吹上浜で見て食べて思いっきり遊ぼう！！【海だけじゃない吹上浜の魅力】

概要説明：日本三大砂丘の一つとして知られる吹上浜。その周りには美味しい食べ物、身体を動かせる施設や旅館、温泉まで魅力がたくさんあります。私の地元でもある吹上をみなさんにもっと知ってもらいたい、楽しんでもらいたいと思いこのテーマにしました。

目的：吹上浜を訪れる若い世代から高齢者まで老若男女に1日中楽しんでもらうため

方法：原付きで周る

結果とまとめ

渚の甘塩館：吹上浜から歩いて5分のところにある「渚の甘塩館」は平成18年5月にオープンされ、吹上浜の塩を使った商品が数多く販売されています。吹上浜の沖合いから汲んだ海水を昔ながらの手法で精製。出来た甘塩はミネラル分を多く含み、かすかな甘味をもっています。渚の甘塩は全国に発送でき、塩を精製する工程を見学することもできます。甘塩を使った塩ソフトクリームを頂きました。濃厚なソフトクリームの甘さと繊細な塩の辛さがちょうど良くマッチして、とても美味しかったです。お好みで塩の追加もできるため甘みが苦手な人でも食べやすいと思います。

吹上砂丘荘：清潔感のある部屋と畳のいい香りが広がり、バルコニーからは吹上の自然を一望できます。施設にある天然温泉や郷土料理を堪能し、部屋で過ごすひとときで旅の疲れが吹っ飛びます。広い宴会場では同窓会や結婚式、披露宴を行うことができ、100人以上が入ります。

吹上浜公園体育館：吹上浜公園はとても広い敷地面積で、室内スポーツだけでなくテニスコートや弓道場、陸上競技場、野球場、グランドゴルフが利用でき、幅広い年代が楽しむことができます。グランドゴルフは日置市内在住の方は1時間30円で、その他在住の方は60円ととてもリーズナブルで利用可能です。

今回の取材を通して、地元の魅力を知るきっかけになりました。取材予定日、祖母の様態が急変し、急遽予定をずらしてほしいというお願いに、どの施設の方もとても優しく接していただき涙が出ました。地元の美味しさ、美しさだけでなく、人々の暖かさを実感することができました。20年吹上に住んでいても知らないこと、もの、場所がたくさんあります。これからもっと吹上の良さを知っていくとともに、吹上の魅力を伝え、発信していきたいです。

文献：

渚のあま塩館 鹿児島県日置市吹上町入来 4949

吹上砂丘荘 鹿児島県日置市吹上町今田 1 0 0 4-3

吹上浜公園体育館 鹿児島県日置市吹上町中原 1 3 5 3-5

仙巖園

学籍番号: 2213082 2213092

名前: 日野まいあ 山下莉実花

私達が仙巖園取材した理由は鹿児島県の観光地といえば仙巖園を挙げる人が多くいることや、2024年末に仙巖園の前に新磯駅(仮称)が開業予定のため、お酒の提供や営業時間の変更等なにかお話が聞ければと思い取材を決めた。仙巖園取材する前にわかったことは、仙巖園を訪れるためにカゴシマシティビューを利用する人が多くいること。年配の方や小さな子供を連れてくる方が多く居た。また、日本人だけではなく、外国人のバスの利用者、観光客も多く居ました。

仙巖園は由緒ある場所で桜島や、錦江湾に囲まれた自然豊かな場所であった。御殿から見れる庭園や御殿の中にある釘隠しを12種類全てを見つけながら探するのはとても楽しく御殿を見学することができた。御殿内から見る中庭に池があり、暖かい季節にはこの椅子で三色団子を頬張りたくなるような趣のある空間だった。どこから見ても歴史ある雰囲気を感じつつ綺麗な景色を堪能でき、改めて鹿児島県の観光地、仙巖園を訪れることができ嬉しく思う。

